



PRESS RELEASE

令和7年3月21日
取手市消防部 警防課

災害対応ドローンの運用を開始

取手市として初めて消防本部に災害対応ドローンが導入され、令和7年2月1日から運用を開始しました。

災害対応ドローンを導入することにより、俯瞰的に被害状況や災害推移の情報を収集することが可能となるため、被害の軽減や活動する隊員の負担が軽減し、より効果的で迅速、的確な現場活動が行えます。今後も訓練を継続し、市民の安心、安全確保に努めてまいります。

災害対応用ドローンの詳細について

(1) 品名 MATRICE350 (DJI 製)

(2) 規格

| | |
|--------|--------|
| 長さ | 810mm |
| 幅 | 670mm |
| 高さ | 430mm |
| 重量 | 6.47kg |
| 最大水平速度 | 12m/s |
| 最大飛行高度 | 7,000m |
| 最大飛行時間 | 55分 |



(3) 能力

- ・最新のカメラを装備しており、400倍ズーム機能や熱源可視機能装備。
- ・外部取り付けスピーカーによる広報アナウンス機能。
- ・撮影した写真をもとに地図の作成が可能。
- ・照明装置を取り付けることで夜間の活動が可能。

| | |
|--------|--|
| 問い合わせ先 | 取手市消防部 警防課 警防係 担当者：伊東 大地 電話：0297-74-5895 (内線 3202) |
|--------|--|



PRESS RELEASE

令和7年3月21日
取手市消防部 警防課

救助工作車の運用を開始

24年ぶりに救助工作車を更新し、3月19日から運用を開始しました。

令和7年2月19日、取手消防署に救助工作車が納車され、1ヶ月間の習熟訓練期間を設け、3月19日から運用を開始しました。新車両には、最新鋭の救助資機材に加え、重量物を排除する移動式クレーンや大型の照明装置、車両の前後にウインチ装置を搭載しており、複雑多様化する救助現場でも迅速、かつ効果的な救助活動ができる仕様となっております。配備された車両を活用し、今後も市民の期待に応え、取手市の安全、安心を守っていきます。

救助工作車の詳細について

(1) 車両名 救助工作車 (II型)

オリジナルキャビン「インテリジェントアタッカー」

シャシ 日野
艀装 モリタ

(2) 規格

全長 8,070mm
全幅 2,360mm
全高 3,180mm
車両総重量 11.775t
乗車定員 5名
駆動方式 4輪駆動



(3) 特徴

- ・車内の空間を最大限に広げた設計となっており、隊員が災害現場に向かう途上で着装準備の容易化、冷房機能強化による熱中症対策を考慮。
- ・資機材庫の設計を工夫し、200を超える最新の資機材を積載。
- ・油圧、電動2系統のウインチを搭載し、約5tの重量物を牽引することが可能。
- ・4段式の最新クレーンや、大型の照明装置を搭載し、夜間活動の視認性が大幅に向上。

| | |
|--------|--|
| 問い合わせ先 | 取手市消防部 警防課 警防係 担当者：伊東 大地 電話：0297-74-5895 (内線 3202) |
|--------|--|